

『園児・児童・高齢者を対象とした平日日中の災害時に 備える対策マニュアルづくり』に関するアンケートを実施！

正親学区では、平成27年度から「防災まちづくり」の取組を進めており、今年度は、住民のみなさんと意見交換をしながら『防災まちづくり計画』を取りまとめる予定としています。

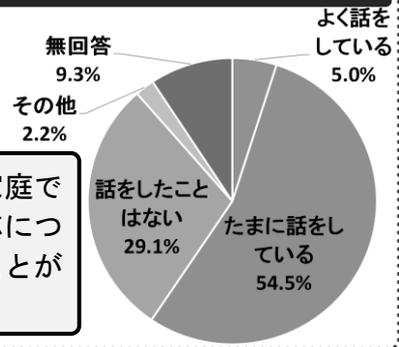


一方で、正親学区内には、せいしん幼稚園や正親小学校があり、平日の日中に災害が起こった場合、多くの方が学区外へ働きに出かけていることから、**地域が関係機関と連携しながら、高齢者、園児や児童の避難・救出救護活動を行う必要があります。**

これらの現状を踏まえ、この度、正親学区の「園児や児童のいるご家庭」「75歳以上の高齢者」を対象に、平日の日中に災害が起こった場合の対応や今後の「防災まちづくり」の取組などを伺う「アンケート調査」を実施しました。

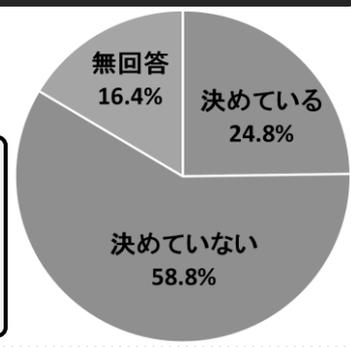
----- 高齢者に対するアンケート結果概要 -----

平日の日中に災害が起こった時の対応について、ご家庭で話をされていますか？



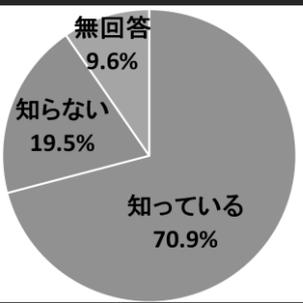
約6割がご家庭で災害時の対応について話したことがある。

平日の日中に災害が起こった時の家族等との安否確認方法を決めていますか？



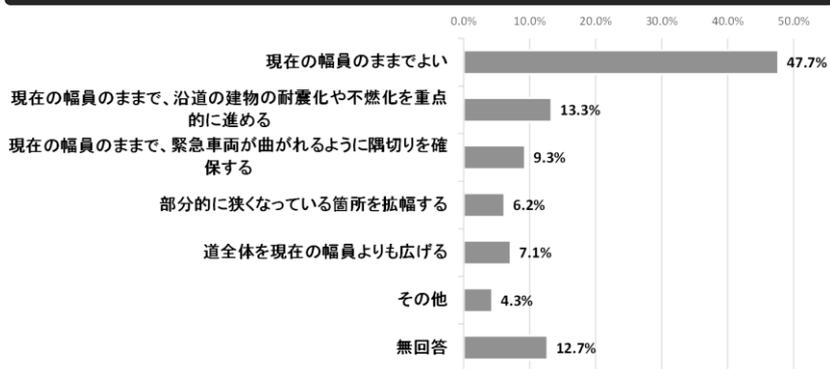
平日の日中に災害が起こった時の家族等との安否確認の方法については約6割が決めていない。

平日の日中に、自宅以外の場所へ避難しなければならない災害が起こった時の「地域の集合場所」は知っていますか？



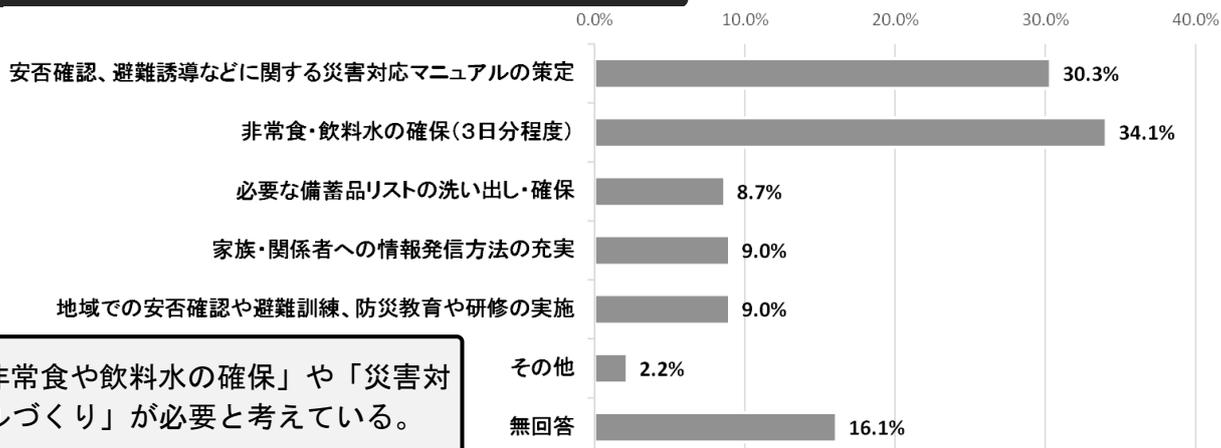
約2割が「地域の集合場所」を知らない。

家の前の道が、将来、どのようになると良いか。



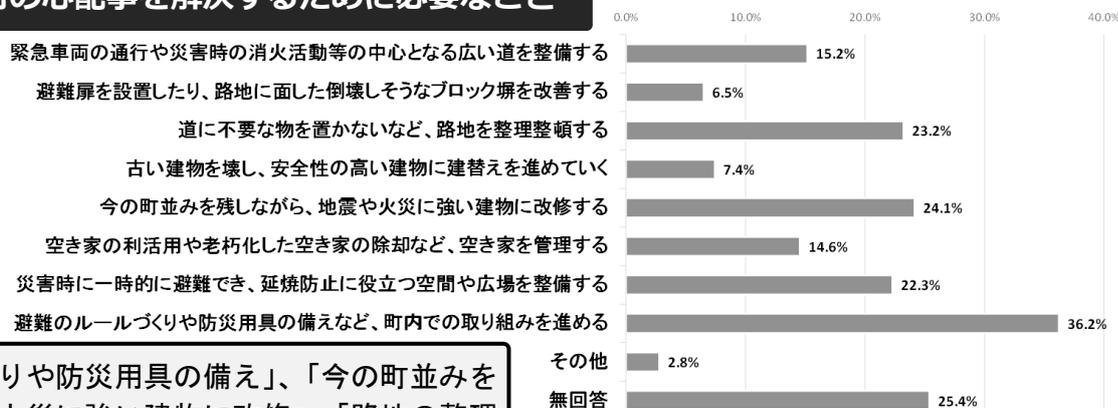
約7割が「現在の幅員のままでよい」と感じ、沿道の耐震化や不燃化、緊急車両が曲がれる隅切りの確保を望んでいる。

平日の日中の災害に備え、地域ではどのような対策を進めると良いとお考えですか？



約3割が「非常食や飲料水の確保」や「災害対応マニュアルづくり」が必要と考えている。

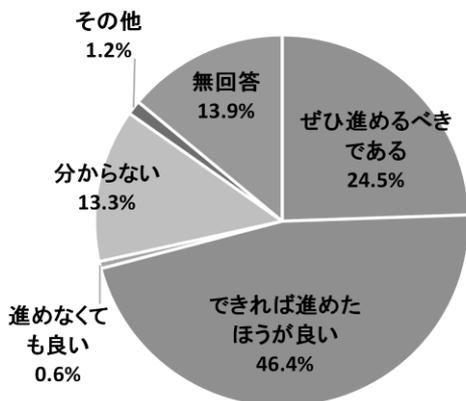
災害が起こった時の心配事を解決するために必要なこと



「避難のルールづくりや防災用具の備え」、「今の町並みを残しながら、地震や火災に強い建物に改修」、「路地の整理整頓」、「災害時に一時的に避難でき、延焼防止に役立つ空間や広場の整備」が必要と考える人が多い。

— 自由意見 —

災害につよいまちを目指した取組に対する考え



約7割が「ぜひ進めるべきである」「できれば進めたほうが良い」と回答。

災害につよいまちをつくるためのご意見・アイデア

- ・互いに、親、子どもをよく知ることで災害に備えたい。明るい思いやりのある地域を目指し、できることには参加したい。
- ・日頃からのご近所とのコミュニケーション、連携。
- ・町内区民の連帯を強くして、具体的なマニュアルを共有したい。
- ・ボランティアとして地域から一人でも多く活躍し、園児・児童・高齢者の手助けをしてほしい。
- ・半年に1回程度、定期的に様々な訓練の実行。
- ・災害は決して起こらないとは限らないので、訓練は良いことだと思う。
- ・自分の事は自分なりに責任を持った行動ができるよう努めたい。

今後も「防災まちづくり」の取組とあわせて、みなさまから頂いたご意見を踏まえ、『平日日中の災害時に備える対策マニュアルづくり』に向けて、具体的な取組を進めていきたいと思っております。引き続き、ご協力よろしく申し上げます！

